

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

2024年度企画展

モンゴルの フィールドワーカー 鳥居きみ子



2024
11/2 土 >>> 12/8 日

会場 徳島県立博物館 企画展示室

開館時間 9:30～17:00

休館日 月曜日(11/4[月・振替休日]は開館)、11/5[火]

観覧料 一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円

20名以上の団体は2割引/土・日曜日・祝日は小・中学生及び高校生無料
/学校教育による利用は無料/身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者
保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、特定疾患医療受給者
証、特定医療費(指定難病)受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の
所持者とその介助者1名は無料/65歳以上は半額
※割引を希望される方は証明できるものをご提示ください。

主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館/徳島県立博物館

文化の森総合公園

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL 088-668-2544 FAX 088-668-7197
<https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp>



モンゴルのフィールドワーカー 鳥居きみ子



鳥居きみ子（1881-1959）は、現在の徳島市に生まれ育ち、小学校の教員を務めました。ある時一念発起して修学のため上京し、東京帝国大学で人類学を研究していた同郷の鳥居龍蔵（1870-1953）と出会い、結婚しました。きみ子は、龍蔵との出会いをきっかけに人類学に関心をいだくようになります。後には、生まれたばかりの娘を連れた、家族3人でのフィールドワークを通じ、モンゴルの文化や風俗に関する貴重な記録を残しました。また、絵本などで有名な「スーホの白い馬」という話にも登場する、モンゴルの伝統楽器「馬頭琴」の名付け親ともいわれています。

この展示では、きみ子が残した旅の日記をはじめ、家族や友人と交わした手紙などから、モンゴルのフィールドワーカー 鳥居きみ子の人物像を描いていきます。

展示構成

プロローグ モンゴルのフィールドワーカー
鳥居きみ子

- I 誕生から鳥居龍蔵との出会い
- II 遥かなる大地に誘われて
きみ子が見たモンゴルー
- III モンゴル研究者として、
家庭人として

エピローグ 晩年の日々



記念講演会

「鳥居きみ子のフィールドワーク
—時代を超えた、その意義—」

日時 11月24日 [日] 13:30 ~ 15:00

会場 徳島県立博物館 講座室

講師 小長谷有紀氏

(国立民族学博物館名誉教授)

定員 50名 (先着順)

※申込不要、参加無料

特別トーク

「赤ちゃんと共にモンゴルへ
—民族学者・鳥居きみ子—」

日時 11月3日 [日・祝] 13:30 ~ 14:30

会場 徳島県立博物館 企画展示室

講師 竹内紘子氏 (児童文学作家)

※申込不要、観覧料が必要



表：鳥居きみ子『土俗学上より観たる蒙古』掲載図版
裏：<左上>慶州城の白塔（中国・内モンゴル）の前に立つ
鳥居夫妻（東京大学東洋文化研究所蔵 1930年）
<中央>モンゴル女性の頭髪飾り（国立民族学博物館蔵）、
セルゲレン作「絵画 春の風景」（国立民族学博物館蔵）、
モンゴルに咲くネジアヤメのイラスト
<右下>モンゴル調査出発前の鳥居一家（1907年）



展示解説

日時 11月23日 [土・祝] 15:00 ~ 16:00

12月8日 [日] 13:30~14:30

※申込不要、観覧料が必要

文化の森総合公園
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL 088-668-2544 FAX 088-668-7197
https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp



アクセス

徳島駅から

バス…約25分

タクシー…約15分

文化の森駅から

徒歩…約35分

徳島自動車道「徳島 I.C.」から

車…約20分

※無料駐車場あり

